第３回広島大学インドネシア人の日本語作文コンクール
募集要項

広島大学では、下記のとおり「第３回広島大学インドネシア人の日本語作文コンクール」を開催いたします（共催：ダルマプルサダ大学・インドネシア工業省）。このコンクールは、インドネシアで日本語を学ぶ高校生及び大学生を対象とするもので、インドネシア国内での日本語学習の振興や将来日本・インドネシア両国の架け橋となる人材の育成を目的としています。

記

１．日程

締　切：2026 年 11 月 30 日（月）午後５時（日本時間）
審　査：2026 年 12 月～2027 年１月
表彰式：2027 年３月 20 日（土）インドネシア工業省 Garuda Hall

２．応募・審査・表彰式の方法

(1) 応募（詳細は「６．応募方法」を参照）

① 団体応募の場合
各高校または大学の指導教員が応募者の作文を取りまとめ、Google Form を通じて提出する形式とします。

② 個人応募の場合
応募者個人が Google Form を通じて提出する形式とします。

(2) 審査

① 一次審査
各作文を、事務局が中心となり審査します。

② 二次審査
一次審査を通過した作文を有識者で構成される審査委員会で審査し、二次審査通過者に対して個別に結果を通知します。

③ 三次審査
二次審査を通過した作文の応募者に対して、審査委員会が個別面接を実施し、優秀作文を選出します。

④ 最終審査
優秀作文から、最優秀賞・優秀賞・一等賞等の各賞の受賞者を決定し、応募者に通知します。

※選考結果は受賞者の発表をもって代えさせていただき、落選者への個別通知は行いません。

(3) 表彰式

最優秀賞・優秀賞・一等賞および優秀指導教師賞の受賞者は、2027年3月20日（土）にインドネシア工業省で開催される表彰式に招待します。

３．応募条件

下記の条件すべてを満たす者とします。

(1)　2026年10月1日時点で、インドネシア国内の高校または大学に在籍する者

(2)　日本へ3か月以上居住の経験がない者

(3)　過去に開催された「広島大学日本語作文コンクール」において最優秀賞、優秀賞、一等賞の受賞歴がない者

(4)　応募した作文が一等賞以上を受賞した場合、2027年3月20日（土）開催予定の表彰式に現地で出席可能な者（会場：インドネシア工業省）

４．コンクールのコンセプト・作文テーマ

コンセプト：「日本・インドネシア交流の未来～国交樹立65周年の絆から次の時代へ～」

【大学生の部】

テーマ（1)「未来をつなぐ日本・インドネシア交流―“わたしの役割”を考える―」

趣　旨　：日本とインドネシアは、長年にわたり友好と信頼に基づく関係を築き、教育、文化、経済、科学技術など幅広い分野で交流を深めてきました。2028年には日本・インドネシア外交関係樹立70周年という大きな節目を迎えます。これから両国がさらに発展し、持続的な協力関係を築いていくためには、未来を担う若い世代の役割がこれまで以上に重要になります。

あなたが日本語を学び、日本とインドネシアの架け橋として活動することは、両国の未来にどのような価値をもたらすのか。「あなただからこそ果たせる役割」について、自身の経験等を踏まえ、自由な発想で提案してください。

テーマ(2)「イノベーションの時代に挑戦する―日本語とわたしの未来―」

趣　旨　：近年、AIやデジタル技術の進展により、社会や働き方が急速に変化する「イノベーションの時代」を迎えています。このような時代において、日本語は単なる言語能力にとどまらず、新しい知識や機会にアクセスし、自らの可能性を広げるための重要な手段となっています。あなたは日本語を通してどのような分野に挑戦し、自分自身の未来をどのように切り拓いていきたいと考えますか。また、その挑戦において日本語がどのような役割を果たすのかについて、自身の過去の経験や将来の目標を踏まえて具体的に述べてください。

テーマ(3)「わたしを変えた日本語教師―先生への感謝状―」
趣　旨　：あなたを日頃から熱心に指導してくださる日本語教師の先生から学んだこと、特に自分の学習方法や学習態度を大きく変えた先生の教えを具体的にまとめてください。また、あなたがその教えによってどのように変わり、成長したのかも記してください。

【高校生の部】
テーマ：「持続可能な未来をつくる―環境とテクノロジー、そしてわたし―」
趣　旨：いま、環境問題や気候変動など、私たちの生活や未来に関わるさまざまな課題が身近なものとなっています。また、スマートフォンやインターネット、AI などの技術は、私たちの生活を大きく変えています。このような中で、私たちは日々どのような選択をし、どのように未来と向き合っていくのでしょうか。あなたは日常生活や学校生活の中で、環境やテクノロジーについてどのようなことを体験してきましたか。また、その経験を通してどのような気づきを得ましたか。持続可能な未来をつくるため、自分にできることや将来取り組んでみたいことについて、具体的に書いてください。

５．作文の分量と体裁

「４．コンクールのコンセプト・作文テーマ」のテーマで（大学生は(1)~(3)の中から一つを選んで)、様式１（Excel 形式、横書き）の太枠の中に作文を書いてください。文字数は日本語で 1,500 字～2,000 字程度とします。様式１の文字の大きさやフォントは変更しないでください。

６．応募方法

※団体応募と個人応募の重複を避けるため、各高校・大学において応募方法を統一してください。万が一重複して応募された場合は、団体応募で提出された作文を有効な応募として取扱います。

(1)団体応募

各高校または大学の指導教員は、取りまとめた以下３つの様式を、団体応募用 Google Form よりアップロードのうえ応募してください。

・様式１（作文・Excel 形式）
・様式２（生成 AI 使用に関する確認書・Word 形式）
・様式３（応募票・Excel 形式）

団体応募用 Google Form：https://forms.gle/Z7Rb1ej4pv6zLpx79

(2)個人応募

応募者自身が、以下２つの様式を個人応募用 Google Form からアップロードのうえ応募してください。

・様式１（作文・Excel 形式）
・様式２（生成 AI 使用に関する確認書・Word 形式）

個人応募用 Google Form：https://forms.gle/c9TDcHaby9iTqGjg8

7．賞

(1)　応募者

【大学生の部】

・ 最優秀賞（日本大使賞）（1名）
　賞状、副賞（ノートPC等10万円相当の副賞）
　及び日本往復航空券及び広島大学日本語・日本文化特別研修へのご招待

・ 優秀賞（広島大学長賞）（1名）
　賞状、副賞（iPad等5万円相当の副賞）
　及び日本往復航空券及び広島大学日本語・日本文化特別研修へのご招待

・ 一等賞（3名程度）
　賞状、副賞（iPad等5万円相当の副賞）

・ 二等賞（5名程度）
　賞状、副賞（タブレット端末等3万円相当の副賞）

【高校生の部】

・ 最優秀賞（広島大学長賞）（3名）
　賞状、副賞（Air pods等3万円相当の副賞）及び
　広島大学への入学料免除及び奨学金30万円の支給（入学時）を予定
　（本学の学士課程に正規生として入学した場合）
　※「8. 注意事項（6)」を確認すること。

・ 二等賞（6名程度）
　賞状、副賞（広大グッズ等の副賞）

【共通】

(2)　指導教師

・ 優秀指導教師賞（一等賞以上の受賞者の指導教師）
　日本語教師の日ごろの努力とその成果を讃え、一等賞以上の受賞者を育てた教師個人に、 賞状と楯を贈呈いたします（表彰式への参加者のみ)。

(3)　団体応募賞
　学生の日本語能力向上に貢献された功績を讃え、団体応募数が20本以上の学校に授与する賞です。

８．注意事項

(1) 応募作品は返却しません。また、応募作品の著作権は主催者に帰属することとし、応募にあたってはこれに同意したものとみなします。また、優秀作品については、細微調整後、作文集として広く公開される場合があります。

(2) 募集要項に記載の形式（文字数、応募期間、送付方法など）を遵守いただけなかった場合は受理されないことがあります。

(3) 本コンクールは、応募者自身の表現力を評価することを目的としています。そのため、応募作品は、応募者本人が自ら考え、執筆した未発表のものに限ります。生成 AI（文章生成ツール等）は、応募者自身が考えたアイデアや内容について、語句や文法の確認等の補助的な目的で使用することはできますが、**作文のアイデアや内容、文章の全部または一部を生成 AI に作成させることは認めません。**応募にあたっては、作品が本人のオリジナルであることを各自で確認してください。必要に応じて、主催者が下書きやメモ等の提出を求める場合があります。**生成 AI の不適切な使用等が確認された場合は、審査対象外または入賞取消し等の対応を行うことがあります。**

(4) 応募作品の内容については、応募者個人が特定できないよう加工のうえ、広島大学またはダルマプルサダ大学において教育研究目的で使用されることがあり、応募にあたってはこれに同意したものとみなします。

(5) いただいた個人情報は、本コンクールに関する連絡に使用し、その他の目的には使用しません。なお、優秀作品として入賞した場合等は、別途氏名などが公開されることがあり、応募にあたってはその点を了承したものとみなします。また、応募作品および応募者情報（氏名、所属、メールアドレス等）については、応募時に同意いただける場合に限り、協賛企業（スポンサー）に提供させていただきます（協賛企業より案内メール等が届く場合があります）。

(6)「高校生の部」最優秀賞の副賞「広島大学への入学料免除及び奨学金 30 万円の支給（入学時）」は、受賞年度（以下、日本の会計年度）の翌年度の初日から起算して 3 年度以内に本学の学士課程に正規生として入学した場合に限り適用されます（広島大学への入学を保証するものではありません）。現在、詳細を検討中であり、本副賞の内容に変更があり得ることをあらかじめ御承知おきください。詳細は、制度確定後に受賞者に別途ご案内いたします。

９．問い合わせ先

広島大学日本語作文コンクール事務局
Email：kokusai-suisin@office.hiroshima-u.ac.jp

広島大学

第３回広島大学インドネシア人の日本語作文コンクール　募集要項

Kompetisi Esai Bahasa Jepang Universitas Hiroshima ke-3 untuk Indonesia

Pengumuman pendaftaran peserta

Universitas Hiroshima akan menyelenggarakan Kompetisi Esai Bahasa Jepang Universitas Hiroshima untuk orang Indonesia yang ke-3 (diselenggarakan bekerja sama dengan Universitas Darma Persada dan Kementrian Perindustrian Indonesia). Kompetisi ini ditujukan untuk murid Tingkat SMA dan mahasiswa tingkat perguruan tinggi yang belajar bahasa Jepang di Indonesia, dengan tujuan untuk mempromosikan pembelajaran bahasa Jepang di Indonesia dan mengembangkan sumber daya manusia yang akan menjadi jembatan penghubung antara Jepang dan Indonesia di masa depan.

Informasi Penting

1. Jadwal

Tanggal batas waktu pendaftaran: Senin, 30 November 2026, pukul 17.00 (Waktu Jepang)
Tanggal seleksi: Desember 2026 - Januari 2027
Upacara pemberian penghargaan: Sabtu, 20 Maret 2027 di Aula Garuda Kementerian Perindustrian Republik Indonesia

2. Metode Pendaftaran, Penjurian, Upacara penghargaan.

(1) Pendaftaran（Secara rincian, silahkan baca nomor 6）:

① Untuk pendaftaran secara berkelompok

Pembimbing dari masing-masing SMA atau universitas akan mengumpulkan esai dari para pendaftar dan mengunggah melalui Google form.

②Untuk pendaftaran perorangan

Pendaftar diminta untuk mengunggah esai mereka sendiri melalui Google form.
(Untuk detailnya, lihat 6. Cara mendaftar).

(2) Seleksi

①Seleksi Pertama:

Setiap esai dinilai oleh Sekretariat sebagai juri utama.

②Seleksi tahap kedua:

Esai yang lolos seleksi pertama akan diperiksa oleh juri yang terdiri dari para ahli, dan peserta yang lolos penyeleksian kedua akan diberitahukan hasilnya secara individual.

③Seleksi tahap ketiga:

Juri melakukan wawancara individu dengan peserta yang esainya telah lolos seleksi tahap kedua dan memilih esai terbaik.

④Seleksi akhir:

Pemenang Hadiah Utama, Hadiah Pertama, dan hadiah lainnya akan dipilih dari esai-esai terbaik dan setiap pendaftar akan diberitahukan.

*Hasil seleksi akan disampaikan melalui pengumuman pemenang, tidak ada pemberitahuan secara individu kepada peserta yang tidak terpilih.

(3) Acara Penganugerahan.

Pemenang Penghargaan Utama, Juara Pertama, Juara Satu dan Penghargaan Guru Pembimbing Terbaik akan diundang ke acara penganugerahan yang akan diselenggarakan di Aula Garuda Kementerian Perindustrian Republik Indonesia pada Sabtu, 20 Maret 2027.

3. Persyaratan Pendaftaran

Peserta harus memenuhi semua persyaratan berikut ini.

(1) Murid/Mahasiswa yang terdaftar di SMA atau perguruan tinggi di Indonesia pada tanggal 1 Oktober 2026.
(2) Murid/Mahasiswa yang belum perna tinggal di Jepang 3 bulan lebih.
(3) Murid/Mahasiswa yang belum dapat juara Pemenang Penghargaan Utama, Juara Pertama, Juara Satu pada Kompetisi Esai Bahasa Jepang Universitas Hiroshima sebelumnya.
(4) Jika Esai dipilih sebagai Juara Satu, mahasiswa tersebut bisa hadir di acara penganugerahan pada Sabtu, 20 Maret 2027.

4. Konsep dan Tema Esai Kompetisi Ini

Konsep : “Menyongsong Masa Depan Persahabatan Indonesia-Jepang: Refleksi 65 Tahun Hubungan Diplomatik untuk Generasi Mendatang.”

Tingkat Perguruan Tinggi

Tema (1)

“Peran Saya dalam Membangun Hubungan Indonesia-Jepang untuk Generasi Mendatang”

Latar belakang:

Jepang dan Indonesia telah lama membangun hubungan yang didasarkan pada persahabatan dan kepercayaan, serta mempererat pertukaran di berbagai bidang, seperti pendidikan, budaya, ekonomi, dan sains-teknologi. Pada tahun 2028, kedua negara akan memasuki tonggak sejarah yang penting, yaitu peringatan 70 tahun terjalinnya hubungan diplomatik Jepang–Indonesia. Agar kedua negara dapat terus berkembang dan membangun

kerja sama yang berkelanjutan, peran generasi muda yang akan memikul masa depan menjadi semakin penting dibandingkan sebelumnya.

Nilai apa yang akan Anda bawa bagi masa depan kedua negara melalui kegiatan Anda sebagai pembelajar bahasa Jepang yang berperan sebagai jembatan antara Jepang dan Indonesia? Berdasarkan pengalaman pribadi Anda, silakan sampaikan usulan secara bebas dan kreatif mengenai "peran yang hanya dapat Anda emban"

Tema (2)

"Menjawab Tantangan di Era Inovasi: Bahasa Jepang dan Masa Depanku"

Latar belakang:

Beberapa tahun terakhir, kita memasuki "era inovasi", yaitu masa ketika masyarakat dan cara bekerja berubah dengan cepat berkat kemajuan AI dan teknologi digital. Di era seperti ini, bahasa Jepang tidak hanya sekadar kemampuan berbahasa, tetapi juga menjadi sarana penting untuk mengakses pengetahuan dan kesempatan baru serta memperluas potensi diri.

Di bidang apa Anda ingin menghadapi tantangan melalui bahasa Jepang, dan bagaimana Anda ingin membuka jalan menuju masa depan Anda? Selain itu, jelaskan secara konkret peran apa yang dimainkan bahasa Jepang dalam tantangan tersebut, dengan mempertimbangkan pengalaman Anda di masa lalu dan tujuan Anda di masa depan.

Tema (3)

"Guru Bahasa Jepang yang Mengubah Diriku: Surat Terima Kasih untuk Sensei"

Latar belakang:

Rangkumlah secara konkret apa yang telah Anda pelajari dari guru bahasa Jepang yang dengan tekun membimbing Anda sehari-hari, terutama ajaran beliau yang sangat mengubah cara dan sikap belajar Anda. Selain itu, tuliskan pula bagaimana Anda berubah dan berkembang berkat ajaran tersebut.

Tingkat SMA

Tema:

"Membangun Masa Depan yang Berkelanjutan: Lingkungan, Teknologi, dan Aku"

Latar belakang:

Saat ini, berbagai persoalan yang berkaitan dengan kehidupan dan masa depan kita, seperti masalah lingkungan dan perubahan iklim, telah menjadi hal yang dekat dengan kita. Di sisi lain, teknologi seperti ponsel pintar, internet, dan AI telah mengubah kehidupan kita secara besar-besaran. Dalam situasi seperti ini, pilihan apa yang kita ambil setiap hari, dan bagaimana kita menghadapi masa depan? Pengalaman apa yang pernah Anda alami terkait lingkungan dan teknologi dalam kehidupan sehari-hari maupun kehidupan sekolah? Lalu,

kesadaran apa yang Anda peroleh dari pengalaman tersebut? Tuliskan secara konkret hal-hal yang dapat Anda lakukan, serta hal-hal yang ingin Anda upayakan di masa depan, demi membangun masa depan yang berkelanjutan.

5. Panjang dan Format Karangan

- Tulislah karangan di dalam kotak bergaris tebal pada Formulir 1 (format Excel, tulisan horizontal) dengan tema yang tercantum pada "4. Konsep Kompetisi dan Tema Karangan" (bagi mahasiswa, **pilih salah satu tema** dari (1) sampai (3)).
- Panjang karangan adalah sekitar **1.500 hingga 2.000 karakter** dalam bahasa Jepang.
- **Jangan mengubah ukuran dan jenis huruf (font) pada Formulir 1.**

6. Cara Mendaftar

※ Untuk menghindari pendaftaran ganda antara pendaftaran kolektif dan pendaftaran individu, **harap samakan cara pendaftaran di setiap SMA/universitas.**
Apabila terjadi pendaftaran ganda, **karangan yang diserahkan melalui pendaftaran kolektif akan diperlakukan sebagai pendaftaran yang sah.**

(1)Pendaftaran secara berkelompok

Guru pembimbing dari masing-masing SMA atau universitas diminta mengunggah ketiga formulir berikut yang telah dikumpulkan melalui Google Form untuk pendaftaran kelompok, lalu.

・Formulir 1 (Esai, format Excel)
・Formulir 2 (Surat pernyataan penggunaan AI generatif, format Word)
・Formulir 3 (Lembar pendaftaran, format Excel)

Google Form untuk pendaftaran kelompok: https://forms.gle/Z7Rb1ej4pv6zLpx79

(2)Pendaftaran secara pribadi

Pelamar harus mengunggah sendiri kedua formulir berikut melalui Google Form untuk pendaftaran individu.

・Formulir 1 (Esai, format Excel)
・Formulir 2 (Surat pernyataan terkait penggunaan AI generatif, format Word)

Link Google Form untuk pendaftaran individu: https://forms.gle/c9TDcHaby9iTqGjg8

7. Penghargaan

(1)Pendaftar

【Tingkat perguruan tinggi】

- Penghargaan Terbaik (Juara Duta Besar Jepang) 1 orang : Sertifikat, hadiah berupa barang senilai 100.000 yen(setara laptop), dan tiket pesawat pulang-pergi Jepang-

Indonesia atau berupa undangan untuk mengikuti Pelatihan Khusus Bahasa dan Budaya Jepang di Universitas Hiroshima.

- Penghargaan Unggulan (Juara Rektor Hiroshima Univ.) 1 orang: Sertifikat dan hadiah berupa barang senilai 50.000 yen(setara tablet/Ipad), dan tiket pesawat pulang-pergi Jepang-Indonesia atau berupa undangan untuk mengikuti Pelatihan Khusus Bahasa dan Budaya Jepang di Universitas Hiroshima.
- Juara Satu (3 orang) : Sertifikat dan hadiah berupa barang senilai 50.000 yen(setara tablet/Ipad)
- Juara Dua (5 orang) : Sertifikat dan hadiah berupa barang senilai 30.000 yen (setara tablet)

【Tingkat SMA】

- Penghargaan Terbaik(Juara Rektor Universitas Hiroshima)3 orang : Sertifikat, hadiah berupa barang senilai 30.000 yen (setara Air Pods) dan pembebasan biaya masuk Universitas Hiroshima dan pemberian beasiswa sebesar 300.000 yen (pada saat masuk), dengan ketentuan mahasiswa tersebut lulus ujian masuk dan terdaftar sebagai mahasiswa reguler pada program sarjana Hiroshima University.
  ※ Mohon baca kembali catatan 8. Perhatian no.6
- Juara Kedua (6 orang) : Sertifikat dan hadiah berupa merchandise Hiroshima University.

【Kategori Umum】

(2)Guru Pembimbing:

・Penghargaan Guru Pembimbing Terbaik (untuk guru pembimbing Juara 1)

Penghargaan ini diberikan untuk menghargai usaha dan hasil kerja keras guru bahasa Jepang, dengan memberikan sertifikat dan plakat kepada guru yang telah membimbing penerima hadiah Juara Pertama atau lebih (hanya untuk peserta yang hadir di acara penghargaan).

(3)Penghargaan untuk Pendaftaran dalam Kelompok:

Penghargaan ini diberikan untuk menghargai kontribusi dalam peningkatan kemampuan Bahasa Jepang siswa, dan diberikan kepada sekolah yang mengirimkan lebih dari 20 karya dalam kategori pendaftaran kelompok.

8. Perhatian

(1) Hasil karya yang sudah didaftarkan tidak akan dikembalikan. Selain itu, hak cipta atas karya yang dikirimkan adalah milik penyelenggara, dan dengan mengirimkan karya, Anda dianggap menyetujuinya. Karya pemenang mungkin akan dibukukan dan disebarluaskan oleh panitia.

(2) Jika Anda tidak mematuhi format yang tercantum dalam pedoman permohonan (jumlah

huruf, jangka waktu permohonan, metode pengiriman, dll.), pendaftaran Anda mungkin tidak diterima.

(3) Karya yang dikirimkan harus merupakan karya asli yang ditulis sendiri oleh pendaftar. Penggunaan AI sebagai alat pendukung penulisan untuk memperbaiki pola kalimat, kosa kata, dan untuk pengecekan teks yang ditulis sendiri dan berdasarkan ide peserta sendiri diperbolehkan. Namun, penggunaan AI untuk membuat ide, konten, maupun keseluruhan atau sebagian dari tulisan tersebut tidak diperbolehkan. Saat mengajukan karya, harap pastikan secara mandiri bahwa karya tersebut merupakan hasil pemikiran orisinal peserta sendiri. Penyelenggara dapat meminta penyerahan draf, catatan, atau dokumen pendukung lainnya jika diperlukan. Jika ditemukan adanya penggunaan AI yang tidak semestinya, tindakan seperti pengurangan nilai atau pembatalan status pemenang dapat dilakukan.

(4) Isi karya yang dikirimkan dapat diproses sehingga pendaftar individu tidak dapat diidentifikasi dan digunakan untuk tujuan pendidikan dan penelitian di Universitas Hiroshima atau Universitas Darma Persada, dan dengan melamar, Anda dianggap menyetujuinya.

(5) Informasi pribadi yang Anda masukkan akan digunakan untuk menghubungi Anda mengenai kontes ini dan tidak akan digunakan untuk tujuan lain apa pun. Harap dicatat bahwa jika karya Anda memenangkan penghargaan sebagai karya luar biasa, nama Anda dan informasi lainnya dapat dipublikasikan, dan dengan mengirimkan lamaran Anda, Anda dianggap telah menerima fakta ini.

(6) Hadiah tambahan untuk Penghargaan Terbaik kategori "Siswa SMA", yaitu "pembebasan biaya masuk Universitas Hiroshima dan pemberian beasiswa sebesar 300.000 yen (pada saat masuk)", hanya berlaku apabila pemenang masuk sebagai mahasiswa reguler program sarjana (S1) di universitas kami dalam jangka waktu 3 tahun anggaran, terhitung sejak hari pertama tahun anggaran berikutnya setelah tahun anggaran penerimaan penghargaan (tahun anggaran yang dimaksud adalah tahun anggaran Jepang). Hadiah ini tidak menjamin penerimaan di Universitas Hiroshima.

Saat ini rincian hadiah masih dalam pembahasan, sehingga isi hadiah tambahan ini dapat berubah; mohon dimaklumi sebelumnya. Rincian lebih lanjut akan diinformasikan secara terpisah kepada para pemenang setelah ketentuannya ditetapkan. Ada kemungkinan Hadiah Penghargaan diubah.

9. Informasi kontak

Sekretariat Lomba Esai Jepang Indonesia Universitas Hiroshima
Email：kokusai-suisin@office.hiroshima-u.ac.jp